

や ず ちよう 八頭町 議会だより



桜の下でハーモニー（ふなおか駅桜まつり）



第73号

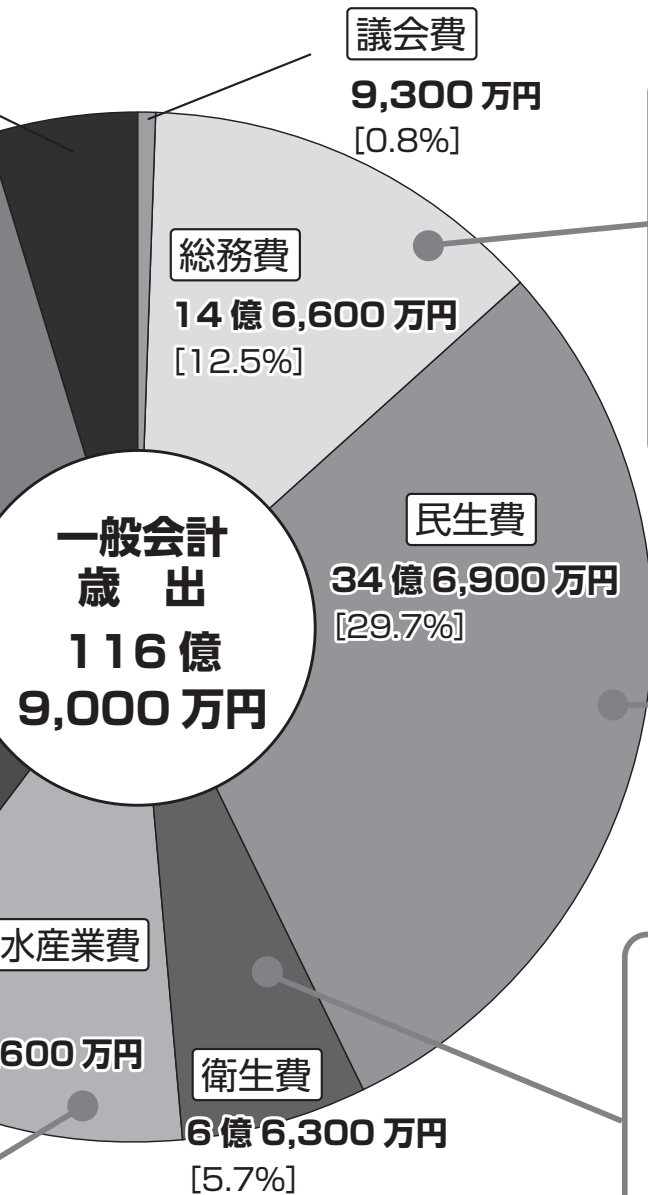
鳥取県八頭町議会
令和5年5月発行

- 3月定例会……………P2
- 注目事業はこれだ……………P4
- 議案概要……………P6
- 一般質問……………P15

3月定例会を6日から23日まで18日間の会期で開催しました。

人事案件6件、請負契約の変更4件、条例の制定2件、条例の一部改正10件、補正予算1件、令和5年度の当初予算を含む50議案が提案され、原案どおり可決しました。

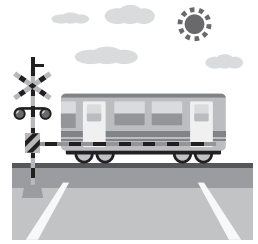
また、追加議案として、議員発議7件が可決され、陳情2件を採択、3件は不採択としました。



若桜鉄道対策費

2億1,410万円

第3種鉄道事業者として、若桜町とともに軌道、車両の維持管理及び老朽化更新等の設備改良を行い、年間を通じて鉄道の安全な旅客運送を実施します。



放課後児童クラブ運営費

9,749万円

船岡第1、第2児童クラブを合同実施するための改修工事を行います。子ども達の育成環境の改善を図ります。



ごみ処理費

2億4,524万円

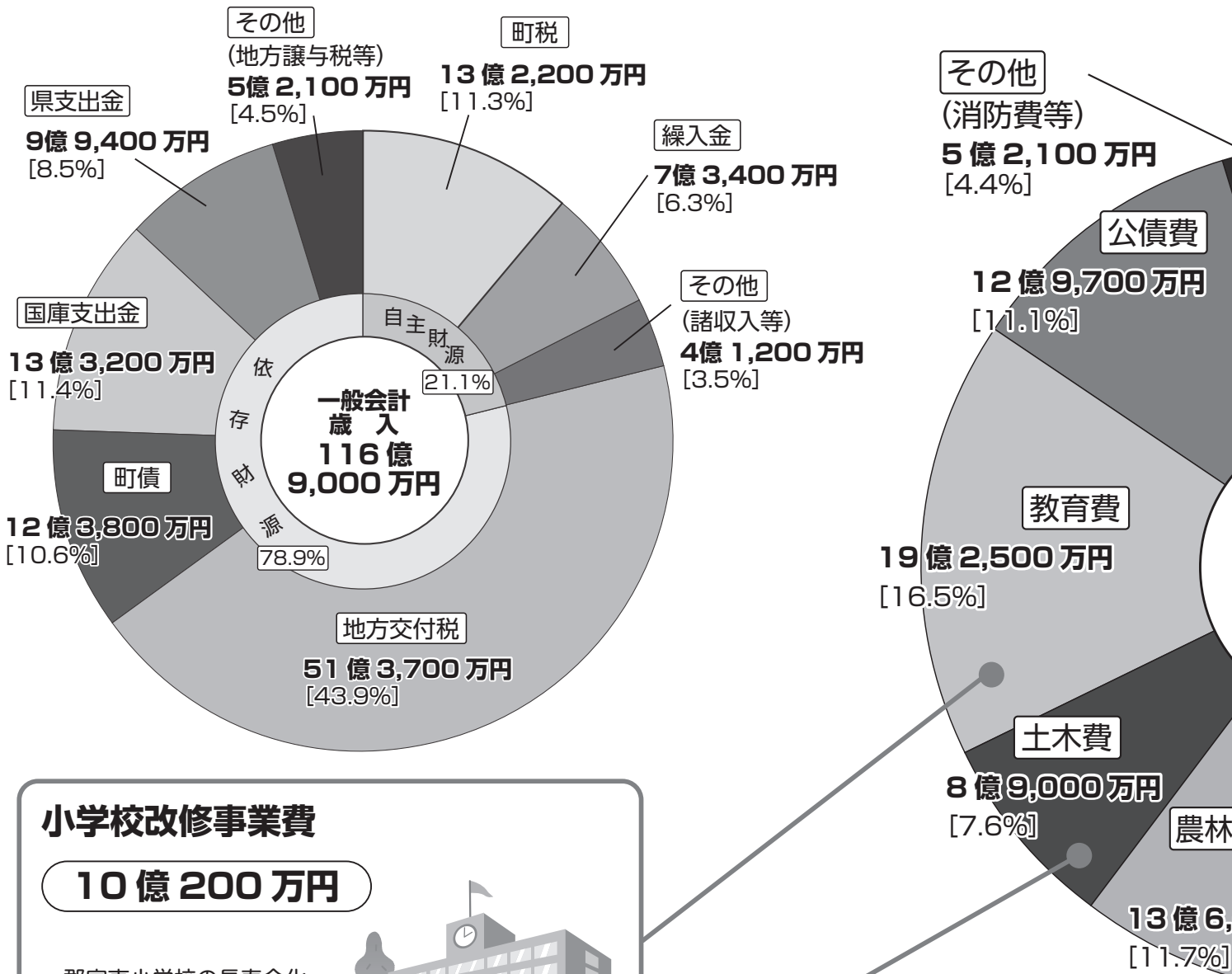
リンピアいなばをはじめ、ごみ処理を行い、生活環境の保全に努めます。



特別会計予算	● 国民健康保険	18億7,200万円	● 宅地造成	300万円
	● 簡易水道	2億8,500万円	● 墓地事業	70万円
	● 公共下水道	5億3,600万円	● 後期高齢者医療	2億2,650万円
	● 農業集落排水	6億100万円	● 財産区	3,288万円
	● 介護保険	24億8,600万円	(上私都・市場、覚王寺・上津黒、下津黒・篠波・大江)	

未来投資型予算を可決

令和5年度予算を徹底審査しました



小学校改修事業費

10億200万円

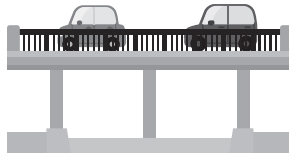
郡家東小学校の長寿命化
工事を実施します。



橋梁メンテナンス事業

1億4,270万円

補強工事等を実施し、橋の落下
等の甚大な被害を防止し、輸送道
路としての機能を確保します。



野生鳥獣被害防止事業費

8,000万円

捕獲奨励金により、野生
鳥獣の捕獲を促進し、被害
防止を図ります。



新年度の予算を熱い思いで語ります。

	栄田 秀之議員	〓DXの推進	住民の負担を変えずに、行政サービスの水準を上げるには、税金を大事に使うことであり、その価値を最大限発揮するように工夫することである。その一つの手法としてデジタル化、DXの推進がある。
	川西 聡議員	〓空き家対策事業 〓社会保障・税番号制度事業 〓関西事務所活動事業費	「焦眉の急」の対策だが前年対比、減額予算で逆行。必要のない予算計上。将来的に心配するのは健康保険証や運転免許証との一体化と個人情報の流出。前年対比で減額予算。これで本町のPRはどうなのか。
	小原 徹也議員	〓国民健康保険特別会計 〓出る杭を伸ばす	個人事業主は、国保に加入する方が多く、社会保険の加入者は雇用主が半分負担だ。コロナによる景気後退で、収入は減り国・県・町の給付金の所得は課税率も高い。仕組みを理由に、何もしないことでよいのか？
	川西美恵子議員	〓移住定住対策 〓子育て支援対策 〓農業振興対策	移住定住を促進する空き家家財道具処分助成や移住者受け入れ組織の充実に期待。学校給食費の保護者負担の軽減や、子育て支援センターの充実を評価。果樹栽培振興や耕作放棄地の再生に向けた取り組みに期待。
	緒方 陽紀議員	〓森林環境整備事業 〓健康増進事業 〓移住定住推進事業	広大な森林を「資源」とするか「負担」とするかはこの事業の推進に掛かっている。高齢化が進む本町において、健康増進は住民の幸福と直結する。新たに策定される次期「健康づくり計画」にも注目したい。
	奥田のぶよ議員	〓郡家駅自由通路分析委託料 〓郡家地区排水対策・歩道整備 〓家族でおいでやす推進事業	郡家駅自由通路の事業について注視したい。郡家駅北側の排水対策と県道河原郡家線西側に歩道が追加整備される。安心安全に生活ができる環境が整う。また、昨年に引き続き「おいでやす」の観光振興に期待する。
	前田 幸己議員	〓まちづくり委員会活動支援 〓農業農村支援関係事業 〓森林整備関係事業	社会の変化（核家族化、人口減少）に伴い、家族、集落の姿が大きく変わり「生活共同体的」風土が薄れている。SDGsの推進にあたり「林業」「農業」の担い手の育成は必須であり、地域生活者が支え合うことができる社会の再生に期待する。

各議員の注目事業はこれだ！

	森 亜紀子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 介護保険特別会計 ❖ 交通政策費 ❖ 公共施設修繕費 	<p>介護保険特別会計の当初予算は 24 億 8600 万円。サービスや介護予防の成果の検証などが必要。公共交通の実態と町民のニーズの検証や、公共施設で屋根の修繕が多いので、統廃合を含めた施設のあり方を考える必要がある。</p>
	山根 張太郎 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 郡家駅周辺活性化事業 ❖ 東郡家地区の開発 ❖ 教育施設等支援事業 	<p>郡家駅南北自由通路はコンパクトシティ化と一体的に進め活性化を図る。東郡家地区の開発は定住・子育て支援の重要施策と考え推進する。学校・社会教育は本町の宝づくりと考え強力に推進する必要がある。</p>
	中村 美鈴 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 産後ケア・病後児保育事業 ❖ 検診率アップ ❖ DXの推進 	<p>働く子育て世代への支援策の推進、女性特有のがんの予防（子宮頸がんワクチンの周知、接種判断の情報提供の為の個別通知を実施）、デジタル化の推進で更に町民サービスの利便性アップを。</p>
	尾島 勲 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 自治体DX推進事業 ❖ 公共交通対策事業 ❖ 環境保全型農業 	<p>政府が推進するデジタル田園都市国家構想にともない、八頭町のような地方で生活する住民の生活環境が、デジタルの導入・活用により、今とは比較できないほど快適で利便性の高い生活環境へと繋がることを期待する。</p>
	矢部 啓祐 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 「出る杭を伸ばす」事業者応援 ❖ ふるさと納税事業 ❖ 空家対策事業 	<p>事業の担い手不足をはじめ、様々な場面で人手不足が顕在化している。人の流れを生み出さないと、町に活力が出てこないと考え、意欲のある方が活躍したり、人が訪れるきっかけの事業に注目している。</p>
	灘口 茂郎 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 観光総務費 ❖ 移住定住推進事業 ❖ スマート農業社会実装促進事業 	<p>本年は兎年。山の白兎伝説、福本の白兎神社等、兎にまつわるスポットを活かした、やずぴょんによる観光PRに期待。過疎化の進む本町の移住者受入の活動に注目。農家の労働力不足解消の一助となることに期待。</p>
	岡嶋 正広 議員	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 移住定住促進事業 ❖ 農業農村整備事業 ❖ 森林環境整備事業 	<p>空き家の利活用の為に新たに家財道具等処分県補助金を財源とした促進事業、果たして効果はあるのか注視する。水路改良及び農地改善事業により効率のよい農作業の実施と、町面積の 8 割を占める森林の整備に期待する。</p>

令和5年
3月定例会

主な議案

◇議案第9・10号 (同意)
人権擁護委員の選任 (敬称略)

森田俊之、安藤博昭

◇議案第11号 (同意)
八頭町財産区管理員の専任 (敬称略)

中西勝美

◇議案第12・14号 (同意)
固定資産評価審査委員の選任 (敬称略)

松本伸介、小林春美、歳岡誠司

◇議案第15号 (可決)
備品購入契約変更契約の締結

除雪ドーザ購入(5t級)の備

品購入の納期を変更するもの。

(変更前) 令和5年3月31日

(変更後) 令和5年4月28日

◇議案第16号 (可決)

皆原橋補修工事請負変更契約の締結

皆原橋の補修工事の完了期日を変更するもの。

(変更前) 令和5年3月31日

(変更後) 令和5年7月31日

◇議案第17号 (可決)

因美線東郡家・郡家間宮谷踏切付近下水道(雨水)布設工事に関する協定の一部を変更する協定締結
委託費が87万5千円減額となり協定費を減額するもの。

◇議案第18号 (可決)

八頭町公共下水道竹ノ下排水区雨水幹線の建設工事委託に関する協定(その2)の一部を変更する協定締結
工期内での完成が困難となり完成期限を変更するもの。

(変更前) 令和5年3月31日
(変更後) 令和5年9月29日

◇議案第19号 (可決)

町道の路線変更
町道井津尻線並びに町道福井前河原線について起終点の変更をするもの。

◇議案第20号 (可決)

八頭町と鳥取県の間における個人情報保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議

個人情報保護に関する法律の改正により、鳥取県と規約を定める協議を行う。

◇議案第21号 (可決)

八頭町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
期末手当の支給月数を0.1月引上げ、年間2.5月に改正するもの。

◇議案第22号 (可決)

八頭町個人情報保護に関する法施行条例の制定

個人情報保護に関する法律の改正により、新たに八頭町個人情報の保護に関する法律施行条例を制定しようとするもの。

◇議案第23号 (可決)

八頭町情報公開条例の一部改正
個人情報保護に関する法律の改正により、関係する条例の一部を改正しようとするもの。

◇議案第24号 (可決)

八頭町企業版ふるさと納税地方創生基金条例の制定
「まち・ひと・しごと創生寄付活用事業」を行うため基金を設置しようとするもの。

◇議案第25号 (可決)

八頭町税条例の一部改正
個人住民税の寄附金税額控除対象特定非営利活動法人の指定について、有効期間の改定を行うもの。

◇議案第26号 (可決)

八頭町特別会計条例の一部改正
公営住宅建設事業債の償還完了により、住宅資金特別会計を廃止し、一般会計に移行するもの。

◇議案第27号 (可決)

八頭町住宅資金健全化基金条例の廃止
公営住宅建設事業債の償還完了により、条例を廃止しようとするもの。

◇議案第28号 (可決)

八頭町集会所条例の一部改正
新庄集会所の除却に伴い、当該施設の名称を削除するもの。

◇議案第29号 (可決)

八頭町立児童厚生施設条例の一部改正
隼福、上野、新庄児童館の除却に伴い、当該施設の名称を削除するもの。

◇議案第30号 (可決)

八頭町社会体育施設条例の一部改正
船岡トレーニングセンター内の一部施設の名称及び使用料を改正するもの。

◇議案第31号(可決)

八頭町総合運動公園条例の一部改正

八頭町総合運動公園内の一部施設の名称及び使用料を改正するもの。

◇議案第32号(可決)

八頭町国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金を「40万8千円」から「48万8千円」に改定するもの(その他加算金として1万2千円支給。合計50万円支給)。

◇議案第33号(可決)

八頭町農業用施設等条例の一部改正

才代二農機具保管施設の払い下げを行うため条例の一部を改正するもの。

◇議案第34号(可決)

八東ふるりの森の指定管理者の指定

○指定管理者

八頭郡八頭町北山64番地3

株式会社エルボスケ

代表取締役 日下部誠

○指定期間

令和5年4月1日～8年3月31日

反対討論

小原 徹也 議員

指定管理を受ける会社の役員

に、当時コロナ補助金の不正請求を理由に、「指定管理者の取り消しを受けた会社の社長」が取締役だ。八頭町の公金を扱う指定管理に年間400万円以上を3年間支払う。倫理的な部分に反対する。

賛成討論

灘口 茂郎 議員

八東ふるりの森の管理についてのコンセプトが明確であり、個人的な自主事業の展開にも期待できる。また、昨年、現指定管理者の下で専任スタッフとして管理運営業務を行っており、経験も十分だ。本案に賛成する。

反対討論

森 亜紀子 議員

1年で若い方に事業を継承したいと指定管理を辞退し、この場で選定委員長の副町長が謝罪された。今年度当初予算で1600万円余りの管理費が計上。早急に指定管理をすることに疑義がある。町の直営もよいと考える。

賛成討論

矢部 啓祐 議員

応募者が1社でも選考委員会の審査基準をクリアしている。事業方針、内容も町が目指す姿・方向性と同じ印象だ。町での直営よりも民間の力とその思いで賑わいの創出、今後の展開も期待できるため、賛成とする。

反対討論

川西 聡 議員

指定管理を受けて、不正なことを行った会社の指導的立場にあつた者が衣を換えて再び管理の業者になることは、町民目線からは噴飯ものであり到底理解出来ない。選定委員会でのクリアーにも疑義があり反対理由は十分だ。

賛成討論

緒方 陽紀 議員

教育機関と連携した環境教育の推進、インバウンドの促進など、力の限り挑戦してもらいたい。何より、去年ふるりの森のスタッフとして早朝から夜遅くまで懸命に活躍する姿を見てきた。頑張っている方々を応援したい。

反対討論

岡嶋 正広 議員

若い人材が育ったという理由で突然辞退。辞退するのであれば指定期間前に若い人材に託すかそれとも定められた期間を全うすべきである。行政との約束は町民との約束だ。辞退届に納得できず町民に説明できない。反対だ。

賛成討論

川西美恵子 議員

アフターコロナで地域間競争も厳しくなる。八東ふるりの森は、町の魅力ある施設として、たくさんの方においでいただいている。ここで踏みとどまって休むということは、今の町の振興策にとって

あり得ないことだ。

発議

◇発議第1号(可決)

トスクの閉店に伴う買い物支援施策を求める意見書の提出

2月8日、8月末を目途にトスク各店を閉鎖するという内容の新聞報道があり、船岡・丹比両地域で長年営業された2店舗が閉店するにあたり、多くの方々が不安に感じられている。

八頭町と鳥取県は協議を密にして、町民が安心して生活できるように具体的な買い物支援対策を講じてもらうよう求める意見書を八頭町及び鳥取県に提出するもの。

◇発議第2号(可決)

八頭町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

個人情報保護法の改正に伴い、新たに個人情報保護条例を整備する必要が生じたため、本条例を制定するもの。

◇発議第3号(可決)

八頭町議会会議規則の一部改正

議場への携帯電話の持込みについては、緊急連絡用として持込みを認めるもの。

◆発議第4号(可決)
八頭町議会基本条例の一部改正

町長等が議員の質疑、質問に対して趣旨を確認することができるようになるもの。

◆発議第5号(可決)
八頭町議会議員政治倫理条例の一部改正

政治倫理審査会は、議員ではない個人に影響が及ぶことがあるため、個人情報保護するため、会議を原則非公開とするもの。

反対討論 小原 徹也 議員

住民の方に、公開すべきことを非公開に条例変更することに反対。議会の審議・審査は、住民に関することであり公開の原則があるべき姿であると考え。議会とは住民の皆様の声を聴く姿勢が必要と教わってきた。

賛成討論 矢部 啓祐 議員

本条例第7条には「知り得た秘密は漏らしてはならない」とあり、初めから公開だと制限が生じる。また、鳥取県の政治倫理審査会は原則「非公開」と定められている。非公開ではじめ、必要な場合に公開するように改正すべきだ。

賛成討論 川西美恵子 議員

町民等で構成される審査会では、個人のプライバシー、個人情報の保護、審査委員が発言しやすい手法を取るべきである。議員だけの情報だけではなく、他の町民の個人情報等も公開されることもあるので非公開とすべきである。

反対討論 森 亜紀子 議員

八頭町の個人情報保護条例の制定、議会議員の個人情報保護条例が可決され、個人情報は適正に取り扱われる。それに則り政治倫理審査会は開催される。開かれた議会であるならば、原則公開で必要に応じて非公開が望ましい。

反対討論 川西 聡 議員

政治倫理審査委員会の公開は議員が、「議会制民主主義を原則にする」として現行の規定となった。議員以外の委員への個人情報保護というが、条例違反の対象議員にとり公開は都合が悪いのかと推測せざるを得ないので反対だ。

賛成討論 灘口 茂郎 議員

政治倫理審査会には町民の方が含まれている。住民のプライバシーに対する意識が高まる中、町民の方が委員に含まれる会は、社会情勢を踏まえ原則非公開にすべきと考え、改正案に賛成する。

反対討論 岡嶋 正広 議員

自治基本条例、議会基本条例では会議は原則公開するとある。個人情報保護は大切な事だが議員は公人である。公人としての責任が議論される場で原則非公開という事は開かれた議会を否定するものだ。

賛成討論 山根張太郎 議員

八頭町議会は開かれた議会であり、公開が原則である。倫理条例は議員の在るべき規範を定めている。議員のプライバシーに属する部分や町民の皆さんにも影響が出る。従って、原案のとおり改正すべきと考え。

◆発議第6号(可決)
学校給食の無償化を国に求める意見書の提出

人口減少対策を講じて、義務教育の期間に係る負担を軽減するため、全ての小中学校で学校給食を実施し、給食費を無料にすることを国に求める意見書を提出するもの。

◆発議第7号(可決)
保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出

日本の保育所の配置基準は戦後からほぼ変わっておらず、以下の

- 2点を国に求める意見書を提出するもの。
- ①保育士配置基準の引き上げを行うこと。
- ②保育予算を大幅に増減すること。

令和5年
第1回臨時会

1月20日

◆議案第1号(可決)

町営住宅東郡家団地改修工事(その2)請負変更契約の締結

建築主体工事において台所の壁の劣化が激しく改修を追加するもの。

○契約金額

6,305万5,300円
(187万8,800円の増加)

○契約の相手

こおげ建設・八田建設特定建設
工事共同企業体

代表者 こおげ建設株式会社

代表取締役 山根 敏樹

◆議案第2号(可決)

郡家西小学校大規模改修(建築)工事請負変更契約の締結

RC部クラック補修等の増工事や作業員の新規PCR検査の経費等を追加し工期を変更するもの。

○契約金額

4億7,078万8,700円

(1,258万8,700円の増加)

○完了期日

(変更前) 令和5年3月15日

(変更後) 令和5年3月29日

○契約の相手

こおげ建設・岡島建設・八田建設特定建設工事共同企業体

代表者 こおげ建設株式会社

代表取締役 山根 敏樹

反対討論

小原 徹也 議員

行政側の提出した工事変更内容内訳書では、発注者と受注者との責任が不明確で発注者が負担すべきかの判断が出来ない。税金の支出は明瞭であるべきだと考え反対する。

賛成討論

森 亜紀子 議員

工程会議は随時行われ、教育委員会や施工管理者、そして学校の先生方とも確認しながら工事を進めてきたとの説明があった。工事完了後は会計検査もあり、契約変更には根拠があるので賛成する。

◇議案第3号 (可決)

郡家西小学校大規模改修(機械設備)工事請負変更契約の締結

プールの給水配管保温等の工事の追加と、教室機能の本校舎移転を3学期終了後に行うもの。

○契約金額

1億2,546万2,700円

(325万2,700円の増加)

○完了期日

(変更前) 令和5年3月15日

(変更後) 令和5年3月29日

○契約の相手

日本上下・山陰建設・松田建設特定建設工事共同企業体

代表者 日本上下水道工業株式会社

代表取締役 山田 俊一

反対討論

小原 徹也 議員

この議案は追加工事となつていゝるが私はそうは思わない。想定出来なかつたとの判断は設計の問題であり、設計側の責任と考えるので反対する。

賛成討論

矢部 啓祐 議員

設計監理の委託料は増減なしの対応であり、児童に混乱を招かないように教育現場を整えることになると判断し賛成する。

◇議案第4号 (可決)

郡家西小学校大規模改修(電気設備)工事請負変更契約の締結

構内配電線路設備等の工事の追加と、教室機能の本校舎移転を3学期終了後に行うもの。

○契約金額

1億691万3,400円
(373万3,400円の増加)

○完了期日

(変更前) 令和5年3月15日

(変更後) 令和5年3月29日

○契約の相手

山口・シグマ特定建設工事共同企業体

代表者 山口電業株式会社

代表取締役 谷川 寛

反対討論

小原 徹也 議員

このような変更の場合は業者側の追加は認めない。それは、発注者に説明が出来ないというのが通り相場である。これは本町の負担ではなく設計側だと思つるので反対する。

賛成討論

川西美恵子 議員

設計監理会社が、設計段階で隔々まで把握するのは大変難しい。設計段階で想定しなかつた部分で変更が出てくるものであり、それを設計会社の責任で工事させることは考えにくい。教育環境は早期に整備の必要があり賛成する。

令和5年 第2回臨時会

2月13日

◇議案第7号 (可決)

令和4年度八頭町一般会計補正予算(第13号)

一般会計の歳入・歳出予算総額

に1,650万円を追加し、歳入・歳出それぞれ123億8,873万5,000円とするもの。

(主な歳出)

○除雪対策費 5,050万円

○船岡小学校校舎屋上防水改修事業 1,740万円

反対討論

小原 徹也 議員

除雪車の納期延期は認められない。どの自治体や民間の計画内容でも、納期を約束した以上、守らなければ納入時までには替わるものを用意するとの協議が一般的である。町長がしていないことは住民への利便性に欠けるので反対する。

◇議案第8号 (可決)

令和4年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第3号)

「郡家地区雨水排水対策事業」において、繰越事業費が発生するため、9,323万7,000円の繰越明許費(※)を設定するもの。

※繰越明許

地方公共団体の歳出予算のうち、予算成立後の事由により年度内に支出が終了しない見込みの経費で、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰越すもの。

議案等議決結果

(第1、2回臨時会・第3回定例会)

賛成「○」、反対「×」で記載。採決は、前田議長を除く13人で行う。

議案等 番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
		森 亜紀子	山 根張 太郎	中 村 美鈴	尾 島 勲	矢 部 啓祐	灘 口 茂郎	岡 嶋 正広	栄 田 秀之	川 西 聡	小 原 徹也	川 西 美恵子	緒 方 陽紀	奥 田 のぶよ	
第1回臨時会															
1	町営住宅東郡家団地改修工事（その2）請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	郡家西小学校大規模改修（建築）工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
3	郡家西小学校大規模改修（機械設備）工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
4	郡家西小学校大規模改修（電気設備）工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
5	令和4年度八頭町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	令和4年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回臨時会															
7	令和4年度八頭町一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
8	令和4年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3回定例会															
9～10	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
11	八頭町財産区管理委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
12～14	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
15	備品購入変更契約の締結（除雪ドーザ購入事業（5t級））	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
16	皆原橋補修工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	因美線東郡家・郡家間宮谷踏切付近下水道管（雨水）布設工事に関する協定の一部を変更する協定締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	八頭町公共下水道竹ノ下排水区雨水幹線の建設工事委託に関する協定（その2）の一部を変更する協定締結	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
19	町道の路線変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	八頭町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	八頭町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	八頭町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	八頭町情報公開条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	八頭町企業版ふるさと納税地方創生基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案等 番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件名	森 亜紀子	山 根張 太郎	中 村 美 鈴	尾 島 勲	矢 部 啓 祐	灘 口 茂 郎	岡 嶋 正 広	栄 田 秀 之	川 西 聡	小 原 徹 也	川 西 美 恵 子	緒 方 陽 紀	奥 田 の ぶ よ	
25	八頭町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	八頭町特別会計条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	八頭町住宅資金健全化基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	八頭町集会所条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	八頭町立児童厚生施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	八頭町社会体育施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	八頭町総合運動公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	八頭町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	八頭町農業用施設等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	八東ふるりの森の指定管理者の指定	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	可決
35	令和4年度八頭町一般会計補正予算(第14号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	令和4年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	令和4年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	令和4年度八頭町住宅資金特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	令和4年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	令和4年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	令和4年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	令和4年度八頭町宅地造成特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	令和4年度八頭町墓地事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	令和4年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	令和5年度八頭町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
46	令和5年度八頭町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
47	令和5年度八頭町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	令和5年度八頭町公共下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	令和5年度八頭町農業集落排水特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	令和5年度八頭町介護保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	令和5年度八頭町宅地造成特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	令和5年度八頭町墓地事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	令和5年度八頭町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
54	令和5年度八頭町上私都財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
55	令和5年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
56	令和5年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
57	令和5年度八頭町篠波財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
58	令和5年度八頭町大江財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決

議案等 番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
		森 亜紀子	山 根張 太郎	中 村 美鈴	尾 島 勲	矢 部 啓祐	灘 口 茂郎	岡 嶋 正広	栄 田 秀之	川 西 聡	小 原 徹也	川 西 美恵子	緒 方 陽紀	奥 田の ぶよ	
陳情 2	国による学校給食無償化を求める陳情	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	採択
陳情 3	「安保関連 3 文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費 2 倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択
陳情 4	保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 5	政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	不採択
陳情 6	安保関連 3 文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・大増税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択
発議 1	トスクの閉店に伴う買い物支援施策を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 2	八頭町議会の個人情報の保護に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
発議 3	八頭町議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 4	八頭町議会基本条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 5	八頭町議会議員政治倫理条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	可決
発議 6	学校給食の無償化を国に求める意見書の提出	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
発議 7	保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の審査

件名	提出者	結果	理由
国による学校給食無償化を求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	採択	陳情の趣旨を認めた。
「安保関連 3 文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費 2 倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	憲法改悪反対鳥取県 共同センター 代表 田中 暁	不採択	外交・国防に関することは、国の専権事項であり、地方議会に馴染まない。
保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情書	自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	採択	陳情の趣旨を認めた。
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取農民運動連合会 会長 雑賀 敏之	不採択	食料自給率の向上や農家支援は必要と考えるが、米や乳製品の輸入中止については国内産業に影響が出ることも考えられ、国の施策に踏み込むべきではない。
安保関連 3 文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・大増税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 山内 淳子	不採択	外交・国防に関することは、国の専権事項であり、地方議会に馴染まない。

※コドソラ代表 与那城千穂美より提出のあった陳情は県外からのものであり、議会の申合せにより資料配布のみとした。

産業福祉常任委員会視察



説明を聞く委員

行い、管理希望がない森林は市が集積計画を作成している。
 ・美作市独自の天然林施業の歩掛りを定め、事業費の算出をしている。

○都市公園の管理施策
 ・里山公園として整備すること
 ・歴史散策の場や子ども達の野外学習の場となり、自然体験型の観光資源として地域の付加価値を高めている。
 ・交付税及び譲与税で都市公園を管理している。

まとめ

市独自で定めた更新伐採率及び作業歩掛りの改善などにより、手入れされていない森林を早期に若返らせ、次世代につなげていこうとする考えと都市公園という位置付けで里山公園を含む7つの公園を管理し、交付税と譲与税を活用している。本町が学ぶところはたくさんあると感じた。

月 日…令和5年2月2日
 場 所…岡山県美作市役所
 説 明…美作市森林政策部、都市整備部、議事事務局 他

研修の内容
 ○森林管理者制度に基づく施策
 ・令和元年度より6地域に分け、年度毎に森林管理者制度の意向調査を開始。
 ・市に管理委託を希望する所有者と林業事業体のマッチングを

公共施設等調査特別委員会

開催回数…10回

(別途小委員会を3回開催)

○公共施設の視察調査

・本町にある277の公共施設について、各担当課から築年数、ランニングコスト、管理状況などをヒアリングした。

・各議員で優先して調査検討をした方が良いと思われる公共施設を10か所ずつ抽出した。

・優先して調査検討する施設として、15施設を選定調査を実施。
 ・調査検討を経て、議論し、中間報告を町に提出した。

※引き続き最終報告に向けて、調査検討を継続していく。

○本庁舎の整備方針

・令和5年1月23日付けで当特別委員会に「現鳥取県八頭事務所の位置を本庁舎建設の優先候補地とし、施設の共同設置に向けた検討の可否を鳥取県に申し入れを行うことについて審議をお願いしたい」旨の要請を受けた。



視察した公共施設 (船岡トレーニングセンター)

・3回の特別委員会、1回の小委員会での協議を経て、「鳥取県八頭事務所の位置を本庁舎建設の候補地の一つとして県に申し入れをすることを了とする」旨の審査結果を報告した。

議会モニター会議

町民とともに歩み、信頼される議会へ！



モニター会議の様子

議会モニター意見

①議会傍聴ツアーなど多くの人に議会をみてもらえるようにするには。

②地域、町民、議会、行政が協力しあって団結した町運営を行って欲しい。

③傍聴した委員会の資料があるとわかりやすい。

④議会の録画放送を日中ではなく夜にまとめて流してはどうか。

議員の意見

③委員会の資料については検討したい。

④令和5年度は本会議のインターネット配信を予定している。スマホなどから手軽に見てもらえるようになる。

導入して初めてのモニター会議でしたが、今後の活動に期待できる会となりました。

議会モニター制度は、議会の本会議や委員会等の傍聴、議会だより、ホームページなども含め多くの意見、提言をいただき、議会運営に反映していくために導入したものです。

月日 令和5年1月29日

議会モニター15人出席

広報

議会モニター会議

見て、読んで理解してもらえらる議会だよりに！

月日 令和5年1月29日

議会広報モニター

4人出席

年4回発行される議会だよりに対してアンケート等を実施するとともに議会広報モニター会議を開催しました。

議会広報モニター意見

①表紙も含めいかに読んでもらえるかが重要だ。

②全戸配布されている中で、家庭内で読む人がどれだけののるか。若い方に読んでもらえる工夫が必要だ。

③議会用語、専門用語はできるだけ少なくしたほうがいい。

④町報と同じ内容でも異なる攻め方をしてはどうか。議会として町に対してきちんと意見を言っていることを伝える。

⑤一般質問のスペースは各議員半ページにしてはどうか。



広報モニター会議の様子

年4回の定例会毎のアンケートも丁寧に提出していただき、また、今回の会でも直接、貴重なお意見をいただきました。これからの広報に活かしていきます。

質問者	質問事項	頁
奥田のぶよ	こども家庭庁設置における本町の対応	16
	森林環境整備	
尾島 勲	社会保障制度の在り方	17
矢部 啓祐	八頭町の魅力発信の環境整備	18
	トスク全店閉店報道によるこれからの買い物、交通政策	
川西美恵子	令和5年度の予算	19
	異次元の子育て支援策	
岡嶋 正広	トスク閉店に伴う今後の対応	20
	保育士の処遇改善策	
小原 徹也	住民生活に必要な重要施設の設置	21

質問者	質問事項	頁
中村 美鈴	認知症対策	22
川西 聡	パートナーシップ制度の導入	23
	トスク店の閉鎖に伴う町民への影響と今後の対応策	
灘口 茂郎	魅力あるまちづくり	24
山根張太郎	本町の総合開発	25
森 亜紀子	除雪の対策	26
	町の活性化	
栄田 秀之	令和5年度当初予算	27
	八頭町防災拠点災害対策	

一般質問とは

議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問をしたり、報告や説明を求めたりすることをいいます。

議員1人あたりの質問時間は30分です（執行部側の答弁は時間に含まれません）。

掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。議事録は、議会ホームページのほか、議会事務局・各庁舎・各図書館などでもご覧いただけます。

広報コンクール 努力賞受賞

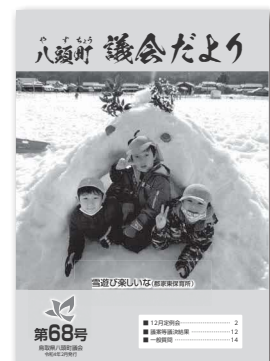
鳥取県町村議会広報コンクールにおいて、努力賞を受賞しました。

今後も町民皆様に読んで頂ける「議会だより」の編集に努めてまいります。

- ・対象広報
(八頭町議会だより第68号)



議長と議会広報常任委員会メンバー



こども家庭庁

本町独自の奨学金について考えはないか

町長／入学時の準備金という新たな制度を提案した



奥田のぶよ 議員

質問

こども家庭庁が設置されることで影響があるものがあるか。また、これまで実施してきた子育て支援の成果について5点伺う。

- ①町長就任以来実施してきた子育て支援のうち、特徴ある取組、力を入れてきたものは。
- ②各関係機関の連携は今後どうなるのか。
- ③こども家庭支援センター設置は。
- ④「伴走型支援を」と基本理念にあるが本町の施策は。
- ⑤子どもや若者の意見を聞く機会を設けてはどうか。

答弁

吉田町長

①総合的相談支援と、子育て世代包括支援センター事業を推進し、母子手帳アプリも始めた。

また、13の保育施設を5施設にし、特別保育の実施、第2子以降保育料の無償化等も行っている。

質問

②子育て支援に係る関係課が連携し支援につなぐ体制が構築されている。今後も町全体で後押しできる体制づくりを行いたい。

- ③設置となるとさらなる支援の充実、強化に努める必要がある。
- ④関係する機関と連携して年齢で区切らず、円滑な社会生活ができるよう支援、伴走を行っていく。
- ⑤SNSを活用した意見聴取などやり方はあると思う。今後いろいろな方法を探ってみたい。

質問

本町独自の奨学金について考えはないか。

答弁

吉田町長

奨学金の活用には至らなかったが、入学時の準備金という新たな制度を提案した。

森林環境整備

オアシス公園の活用は

町長／町民の憩いの公園として再生できればと考える

質問

森林環境整備について5点伺う。

- ①集積計画を実施した実績は。
- ②所有者不明森林の対応は。
- ③森林アドバイザーなど専門知識を持つ職員配置を考えないか。
- ④木製の遊具など保育園等に整備できないか。
- ⑤オアシス公園の活用を考え、森林イベントなどを実施しては。

答弁

吉田町長

①令和3年度に38件計画を策定した。今後、約15年かけて町による整備が必要な森林を順次回る計画だ。

- ②所有者不明森林数、筆数は把握してない。所有者不明森林は少ないと推測する。
- ③専門職員は必要ないと考える。
- ④昨年度、希望のあった保育所に木製遊具を設置した。今後も取り組んでいきたい。
- ⑤町民の憩いの公園として再生で

できればと考える。イベントは関係団体と協議しながら検討したい。

※その他の質問
コロナ禍後の団体支援について



▲オアシス公園

社会保障制度

ベーシックサービスの 見解は

町長／国と歩調を

合わせる事が大事だ



尾島 勲 議員

質問

人が人として生きて行くうえで最低限の権利を行使し、支援などを享受出来ることは、社会保障制度の原点である。

①本町における異次元の少子化対策を今後実施する用意は。

②社会保障・福祉施策の、今後の給付や手当てサービスの在り方は。

答弁

吉田町長

①本町では、人口減少対策や地方生に取り組むため、八頭町総合戦略や子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育て支援施策を推進し、異次元とまでは行かなくても、支援のバージョンアップや新たな支援に取り組めればと考えている。

②子育て支援の今後のサービスとして、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援と子育て世代への経済的負担を軽減し、安心して生

み育てられる子育て環境整備に取り組むことが必要だ。

子育てセンターに令和5年度、屋内と屋外に遊具設置を計画し、子育て支援の充実につなげたい。

医療介護は引き続き健康検診事業、高齢者保健・介護予防一体化事業に取り組み、健康寿命の延伸医療費の抑制に努める。

障がい者・障がい児福祉は、生活介護や居宅介護、就労継続支援などの自立支援のほか、児童福祉法による障がい児を対象とした、放課後等デイサービスの支援があ



▲いつまでもみんなと楽しく遊びたいなあ！（郡家東保育所）

る。

生活保護と生活困窮者支援は、国の制度に沿って個々の課題に応じた支援をしたい。

答弁

藪田教育長

①教材費・学用品費は、町が定める支給基準に該当する世帯を支援することは、町の義務である。

給食費の無償化は、財源が厳しい中で引き続き慎重に判断している。

質問

本町が独自で行っている支援は。

答弁

吉田町長

第2子以降の保育料の無償化、大学入学準備金の新設、小中学校入学祝い金、高校生の通学補助だ。

質問

第2期八頭町子ども・子育て支援事業計画の中に、経済的負担の軽減の推進施策として15項目ある。この全部を行政サービスとして無料とする、異次元の施策としてはどうか。

答弁

吉田町長

国が踏み込むのであれば、私ど

もとしても一緒になって取り組みを展開したい。

質問

入院費・手術費など、いつ誰が遭遇するか分からない費用に対してのみ町が保障し、サービスとして補填する考えは無いか。

答弁

吉田町長

補填は難しい。

質問

ベーシックサービスという言葉がある。

人が肉体的自立・精神的自立・社会参加を可能とするなどの、給付条件に該当する者のみを対象とした行政サービスを無償とする考え方がベーシックサービスだ。

具体的には、子育て・教育・医療・障がい者福祉・生活保障などに該当する者のみを対象とする行政サービスだ。

ベーシックサービスについての見解を問う。

答弁

吉田町長

今回初めて聞いたが、1つの行政だけではなく、国も一緒になって歩調を合わせることが非常に大事ではないかと思う。

魅力発信の環境整備

体験型のふるさと納税の返礼品で誘客を

町長／宿泊施設の割引などの返礼品を検討したい



矢部 啓祐 議員

質問

本町を多くの方知ってもらい、訪れてもらうことは観光、商業、経済、人手不足の解消等で好循環をもたらすと考える。町内にも多くの魅力発信素材があり、磨き上げ、仕組みづくりや環境の整備が重要になってくる。

- ①本町におけるシテイプロモーションの基本的な考え方は。
- ②八頭町ファン獲得と創出に向けた今後の展開は。
- ③ふるさと納税の体制づくりを含め、今後の展開をどのようにお考えか。
- ④八東地域には、紅葉の時期にたくさんの方が訪れる場所があり、道中の道路整備をはじめ環境整備をどのようにお考えか。
- ⑤隼駅まつりを行政として今後どのように展開していくお考えか。

答弁

吉田町長
①「子育て世代」をメインター

ゲットにシテイプロモーションを展開。「家族でおいでやず八頭町」をスローガンに各種イベントを開催。

- ②関西では、関西八頭町会の会報誌、住吉区民祭り等でブース出展、八頭町創作落語を開催。首都圏では、町内食材を使った子ども食堂「やずびよんち」の展開、ラジオ出演、ワーケーションモニターツアーを実施。観光誘客、ファンの獲得から定住移住人口の増加に結びつきたい。
- ③今年度は2月末時点で寄附額は約1億9000万円。今後はリピーターを大切に、返礼品の開発、PR方法の工夫をし、件数も相当増加したので、職員、委託先、発送部署の作業効率化、人員体制の見直しも必要と考える。
- ④道路改良が望ましいが、国の予算が確保できず苦慮している。
- ⑤全国的にも地域、ライダー、企業、行政が一体となったバイクイ

ベントは珍しい。広く情報発信し、ふるさと納税や関係人口の増加に結びつきたい。

質問

各方面取り組んで頂いているが、八頭町を知ってもらって、実際に訪れる人が増える展開を望む。例えば、防災協定やキャラクター同士の交流等をしてみては。

答弁

吉田町長
そうしたことが出来るかどうかは各所と話をしてみたい。また、関東では「ふるさと応援団」を5年度中に形づくりたいと思う。

質問

ふるさと納税の寄附額を伸ばしていくのであれば、担当者、現場の声を聞いても現体制では限界だ。返礼品の確保から苦情対応など全般にわたって一元化の体制を整えてみては。

答弁

吉田町長
ふるさと納税の事業会社を立ち上げて自治体もあり、新たな仕組みづくりを考えたい。

質問

生産者との連携や体験型の返礼

品を増やし、八頭町に訪れる人が増える仕掛けをしてみたい。

答弁

吉田町長
生産数で返礼品の限度もある。生産者との連携は重要だ。体験型で公園や宿泊施設の割引など返礼品の中で検討してみたい。

質問

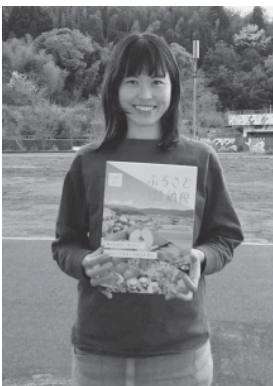
八東の景勝地への道路は、国の予算が確保できないとのことだが、交付金の算定基準に町道の長さがあるので改良に使えるのでは。

答弁

吉田町長
交付税の中に町道の延長分が入っているが、維持管理で対応している。待避所的な整備を考えていきたい。

※その他の質問

トスク全店閉店報道によるこれからの買い物、交通対策について



▲ふるさと納税のパンフレットを持つ担当者

予算の特色

令和5年度予算に 込める思いは

町長／子育て支援など

未来投資型予算だ



川西美恵子 議員

質問
施政方針の中で、八頭町の価値や魅力を再発見して、夢と希望あふれる未来に向けた町にしていくと言われた。

令和5年度の一般会計当初予算は、116億9,000万円です。7億2,900万円の増額となっている。八頭町の当初予算の特色と、予算に込める思いは。

答弁 吉田町長

① 郡家東小学校の長寿命化改修事業に10億200万円余り。
② 船岡児童クラブの改修工事や児童クラブの運営費など、6,300万円余。
③ 学校給食の食材費補助で、保護者負担額を、1食当たりの単価を小学校200円、中学校250円へと引下げ、保護者負担の軽減へつなげる。
④ 子育て支援センターを充実させるべく、屋外遊具を設置。



▲ 大規模改修される郡家東小学校

⑤ 大学等入学準備金制度を設け、住民税非課税世帯を対象に、大学等へ進学する者に一時金の支援を行う。

⑥ 空き家財道具等処分費補助金を新設し、移住定住を促進する。
子育て支援の面がかなり強く、教育環境の整備など、未来投資型の予算というように思いで予算を策定した。

子育て支援

町長の考える子育てに優しい まちとは

町長／給食費の軽減や

子育て支援センターの充実だ

質問
子どもを養育するための費用は国公立に通わせた場合で1人800万円程度、私立となれば2,300万円程度とも言われている。

保護者の経費軽減を図ることは少子化対策に大きな効果があると考えられる。町長の考える子育てにやさしい町とは。

① 給食費の無償化、高校・大学などの学費軽減については。
② 女性に家事負担の多い性別役割分担意識を変えていくことは。
③ 子育て支援の充実として、土日の子育て支援センターの開館や、出張子育て支援センターという形で月に2回程度、英会話教室やリトミック教室体験などの特色ある保育の実施については。

答弁 吉田町長

① 給食費の保護者負担の軽減や新規に大学等入学準備金制度を行う。基本的には国策で対応しても



▲ 遊具が設置される子育て支援センター

らうというのが一番だと思う。

② 男女の固定的な役割分担意識がいまだに強く残っている。仕事と生活の調和を可能とする働き方の見直しを進める必要がある。

③ 子育て支援センターを気軽に利用して欲しい。土日の開館や、移動子育てセンターについては検討したい。

※その他の質問
住みたい田舎ベストランキングについて

トスク閉店

今後この問題にどうかか
わっていくのか

町長／JA・県・町とで
対応を検討したい



岡嶋 正広 議員

質問

丹比・船岡両トスク店舗が本年8月末までに閉店という報道があった。この事は地域の方の買物拠点施設が失われることとなる。

①町行政として今後この問題にどうかかわっていくのか。

②丹比・船岡両施設を町有化し、小規模化して民間委託での経営は考えられないか。

③船岡地域にコンビニエンスストアと農産物等を扱う店舗を併設した複合施設設置についての考えは。

答弁

吉田町長

①農村山間部での経営は大変厳しい状況にある。JA・県・町とで情報共有の上対応を検討したい。

②公設民営方法も一つの選択肢である。色々な角度から検討したい。

③現在の店舗の確認、民間業者の参入可否の確認、併せて移動販売車の検討も必要と考える。



▲地域の買い物拠点施設（トスク船岡店）

保育士処遇改善

町独自の制度の設定は

町長／可能だが保育士不足が
難しい問題だ

質問

保育士配置基準を、国が定める基準より増やす町独自の基準の設定についての考えは。

答弁

吉田町長

少子化ということで30人を超えるクラスは1クラス、あとは19人とか20人であり、結果として基準に入っている。

町独自の制度は可能だが現状からして保育士不足等非常に難しい。

質問

会計年度任用職員も含めた職員の給与面の改善についての考えは。

答弁

吉田町長

保育士の給料は一般行政職と同じ条例で規定されている給料表に基づき支給。

会計年度任用職員も近隣市町の

状況を考慮し正職員に準じて支給している。

質問

職員の処遇も含めた保育についての話し合いの場はあるのか。

答弁

吉田町長

保育所長と話をしている。職員との話し合いの場はない。

※その他の質問
やずバス・タクシーの鳥取市内への乗り入れについて



▲楽しく遊ぶ園児たち
（船岡保育所）

日常生活(買い物)

コミュニティコンビニの誘致を考えないか

町長／大事だと思っている



小原 徹也 議員

質問

船岡地域でスーパーが閉店するがコンビニ誘致を考えないか。

- ①コンビニの利便性は。
- ②コンビニは、マイナンバーカードで住民票・印鑑証明・所得証明が発行し受け取れる。役所が閉まる17時以降に利用できる。現在の現状は。
- ③コンビニのメリットと、町長が普段スーパーやコンビニを利用する頻度は。
- ④トスクの閉店に関連して、食料品の買い物だけでなく、日々の楽しみでもあると聞いた。コンビニは住民の利用に限らず、観光客他に、なくてはならない機能がある。どう捉えているか。
- ⑤コンビニは、町内にたくさんあるが、郡家地域に3か所、八東地域に1か所、船岡地域には0だ。たくさんさんの利便性の中に、行政サービスがコンビニにはある。そのサービスが受けられない地域と

して船岡地域がある事は、生活の平等性から考えると、行政は早急に解消される事案ではないか。

- ⑥スーパーとコンビニは別々の要素、役割を認識しているか。
- ⑦鳥取県内の自治体でスーパーまたはコンビニゼロは各2自治体ある。コンビニを船岡地域にというのは、トスクの問題が起きた。コンビニとスーパーが合体した機能を持つ施設が必要だ。

コンビニとスーパーが合体したコンビニがあるが知っているか。
⑧『コミュニティコンビニ』を調査して誘致を考えないか。

答弁

吉田町長

- ①午前6時30分から午後11時まで、マイナンバーカードで全国のコンビニで各証明書が受け取れる。

- ②令和3年のコンビニでの利用者は、住民票376件、印鑑証明384件、所得証明47件。令和4年

12月末時点は、住民票412件、印鑑証明315件、所得証明60件。窓口よりも手数料が安く申請書の記載する必要がない為、住民の利便性が向上している。

- ③メリットは、年中無休で深夜まで営業している。利用はコンビニで月1回か2回、銀行ATMを利用があり、スーパーは年に数回程度だ。
- ④スーパーは、地域の方の生活で利用される。コンビニは、観光客を含め、そこを通過される方であり深夜早朝も開いているから、トイレ、ATMや住民票等の取得、公共料金の支払い等に利用されていると思っっている。

- ⑤コンビニ利用は、どなたでも、どのコンビニでも利用可能であり地域というより位置、場所とらえて頂きたい。
- ⑥生鮮食品をはじめ、日用品を中心に地域を支え、生活基盤の一つである食生活を守るのがスーパーマーケットであると思う。コンビニは品数はスーパーより少ないが食料品と日用品と併せて、配便の受け取りと発送、納税、公共サービスの提供に至るまで、社会の公共空間としての役割をも担うものと理解している。
- ⑦承知していない。
- ⑧複合施設的な『コミュニティコンビニ』は大事だと思っっている。



▲期待される町のコンビニ誘致(写真は質問とは関連ありません)

認知症対策

認知症サポーター養成講座の 状況は

町長／若い世代での
実施を検討したい



中村 美鈴 議員

類型3年生に受講を頂いた。受講後、アルツハイマーへの理解を進める街頭啓発活動を行った経過もある。

コロナ禍で、小中学校での養成講座は中止。感染動向に注視し、若い世代小中学校での実施を検討したい。

歳以上人口が増加する推計で、比例して認知症の方が増加すると推測している。地域で理解を広げ、認知症になった時医療や介護サービスが受けられる様、介護基盤整備が必要だ。また、地域包括ケアシステムの構築を推進したい。

質問

ウィズコロナの生活様式は、認知症機能の悪化を招く。2025年は、約700万人高齢者の5人に1人が認知症になると推計される。超高齢社会を迎えた日本が、取組むべき最重要課題だ。

- ① 認知症施策の基本的な考え方と現状は。年間認知症の方が何人位おられ、コロナ禍3年間の推移は。
- ② 認知症の学びは、地域や職場で小中学校での機会を創出すべきだが。本町の認知症サポーター養成講座の実施と状況は。
- ③ 認知症行方不明者の早期発見と保護対策があるか。
- ④ 今後の取組みと課題は。

答弁

吉田町長

① 八頭町第8期介護保険事業計画の認知症施策では、認知症の理解を深め、地域で見守り、認知症サポーター養成講座の開催、認知症高齢者等SOS見守りネット事

業、位置検索システムの利用支援等の事業を行う。また、居場所づくりや認知症の人と家族の集い、認知症カフェ、まちづくり委員会への参加を推進している。

早期発見、早期対応体制で認知症初期集中支援チーム活動、認知症ケアパスの普及、認知症予防検診、予防・支援事業がある。あおぞら教室の開催。70歳以上の方を対象にアンケート調査を行い、各種介護予防事業へ案内を行う。認知機能低下が見られ、日常生活に支障がある方は、7割前後で推移。コロナ以前の令和元年と比較し、69・6%と横ばいで大きな変化はない。

② 22年度より講座を開催し、134集落中102集落を巡回し、職場やまちづくり委員会等を含め254回、延べ5千153名が受講された。職場で昨年、トスタ船岡、丹比店で受講。少年野球チームや令和4年度は、八頭高の看護医療



▲ 八頭高生の認知症サポーター活動

- ③ GPS機能を活用し認知症高齢者位置検索システムの利用支援を行っている。SOS見守りネットワーク事業を実施し、郡家警察署と連携し初動捜査を迅速に行っている。
- ④ 本町では2040年にかけて、75

質問

コロナ禍で、2以上の方（金銭や服薬の管理が難しい）が7割いる。1,200人中、約850人認知症の方の対策をしている。警察庁では昨年全国で認知症の人等が行方不明で届出があったのは1万7,636人で過去最多。届出のあった人は、昨年以内に所在確認されたが今も236人の方が行方不明だ。

鳥取市の昨年春の取組み例で、おかえりQRシールをカバン等に貼る支援事業が始ったが、本町はどうか。

答弁

吉田町長

まだ、周知が出来てないので担当課と協議したい。

パートナーシップ制度

導入は考えないか

町長／取組の検討を

行ってみたい



川西 聡 議員

質問

①本町は、性的マイノリティーの人が暮らしやすい環境づくりのためにどのような配慮や施策を行っているか。

②パートナーシップ制度は、法的効力はないが異性間の事実婚と同様に、同性カップルを事実上の家族として扱うもので自治体や企業が同性カップルに対して独自に定めた権利や特典である。

例えば、「健康保険の扶養者に出来ない」「勤務先の福利厚生が適用が受けられない」「公営住宅の申し込みが出来ない」等の異性の夫婦との不平等を是正するために、婚姻関係に相当する権利を認めることを目指すものである。

導入についての所見は。

答弁

吉田町長

①性的マイノリティーに関する人権教育・啓発では、平成29年度に各集落で実施された人権問題学習会でDVDを活用し学習に取り組んだ。また、広報「やず」に人権課題として対象者への理解を深める記事を掲載している。

「八頭町人権教育推進協議会」は、来年度に女性の人権・性的マイノリティー等に関する人権を中心に町内全域で学習する予定だ。②県は、制度の導入はしていないが県営住宅入居や県立病院での面会等で行政サービスの提供をしている。本町も取組の検討を行ってみたい。

トスク店閉鎖

買物困窮者等の打開策は

町長／各市町と情報を

共有しながら対応する

質問

県東部でスーパーを営むトスクが来年度で店舗を閉鎖する方針だ。

①船岡店や丹比店のトスク閉鎖に伴う町民への影響をどのように受け止めているか。

②今後、県と提携しての買物困窮者等への具体的な打開策は。

③若桜町長は「店舗と移動販売の機能は維持したい。官民で連携しながらの体制づくりを思案している」との報道があった。所見は。

答弁

吉田町長

①買物の場が失われるのは日常生活に直結する大変大きな問題だ。

②各市町の現状やJAの対応状況等の情報を共有連携して対応する。

③トスクの土地・建物の所有形態、経営状況等が各店舗により異なるので一律の判断にはならない。

JAの店舗が引き継がれ、地元にある店舗がある状態が継続されることに注力したい。



▲地域の買物の場トスク丹比店

魅力あるまちづくり

認知度向上のための シテイプロモーションは

町長／子育て世代をメイン
ターゲットに実施している



灘口 茂郎 議員

質問

人口の東京一極集中が再加速していることにより、地方の過疎化が進み、存続が危ぶまれる集落もあり、東京一極集中の是正は地方にとって重要な問題であると考えられる。過疎化が進む本町において、これまで以上に移住施策に取り組む、本町の魅力を発信していくことが重要であると考えられる。そこで町長に魅力あるまちづくりについて伺う。

- ① 本町の認知度向上のためのシテイプロモーションをすすむとしたらどのようなものになるか。
- ② 若者世代に向けた魅力ある施策は。
- ③ 子育て世代に向けた魅力ある施策は。
- ④ シニア世代に向けた魅力ある施策は。

答弁

吉田町長

① 最近では、「家族でおいでやず 八頭町」をスローガンに、子育て世代をメインターゲットに捉えたイベントを実施し、また、移住・定住のイベントや相談会にも積極的に出店し、本町の充実した子育て支援のPRや住まいの確保の相談などに応じているところである。

- ② 地域おこし協力隊制度を活用した農林業への就業支援や、準lab.等を活用した多地域居住、テレワークなどの多様な働き方を推進し雇用の確保に取り組むことなど、若者世代に届くよう展開していくことができればと考えている。
- ③ 母子保健では、妊娠、出産、育児を安心して行い、子どもの健全な成長を見守るために、各種母子保健サービスの提供を行うとともに、子育てを地域で支える取組、また子育てと仕事が両立できる環境として、各種特別保育サービス

などの支援事業を行っている。

- ④ 同じシニアでも様々なライフスタイルに合わせて対応していかなければならぬと考えている。社会教育での生涯学習をはじめ、これまでの経験を活かした、シルバー人材センターを通じての活動、健康面ではグラウンドゴルフや健康ウォーク、温水プールを備えた八東保健センターでの水泳教室、また、町内12地区のまちづくり委員会が集いの場を提供し、いきいき百歳体操や世代間交流等が考えられる。



▲ 絶景の柿畑（大御門エリア）

質問

本町の認知度を向上するためには、地域を一つのブランドとして認知してもらおうという活動、地域ブランディングということも必要ではなからうかと考える。「フルーツの里 八頭町」として、本町をブランディングしてみたい。

答弁

吉田町長

果樹栽培の後継者、生産者の皆さんが高齢という課題があるが、まず大門のほうで新たに造成をして様々な柿であったり梨を、十数人のグループで画期的に事業に取り組んでいただいている。経営モデル団地ということで、新水園に梨関係で若い皆さんに入っていたら、ジョイント方式を主体にこれから頑張っていたらということもある。最終的に作ったものをしっかりと売っていくということが必要だと思ふ。

そのような販路拡大、広報も含めて、生産者の皆さんと一緒に取組んでいければと思っている。

総合開発

郡家駅周辺の開発は

町長／駅前の在り方について

検討している



山根張太郎 議員

質問
①郡家駅南北自由通路調査は今年度事業である。年度末を迎えようとしているが何処まで進んだか。進捗状況について伺う。

②八頭町の将来を想定した事業で国や県の支援を受ける事業であり県やJR西日本との協議を要すると考えるが、施工開始時期はいつ頃を想定しているのか。

③郡家駅周辺の開発はコンパクトシティ化を念頭にした開発計画が必要と考えるが何を考えているか。

④JAこおげ選果場付近の開発は郡家東小学校の児童数の減少が加速傾向にあり町営住宅の建設や宅地造成等が急がれると考えるが対策は。

⑤八頭町本庁舎の整備は総合開発計画と密接な関係にあり、中央公民館郡家図書館、多目的ホール（災害時対応可能）などを併設しては。⑥安全で安心して暮らせる町づく

りのため医療制度の整備は喫緊の課題であり開業医の後継者不足解消策のため診療所を併設してはと考えるが。

答弁 吉田町長

①概略事業費の算定などを行い本年度は郡家駅周辺の開発基礎調査を実施、今後の検証に必要な資料の整理を行っている。

令和5年度は実態調査としてアンケート等を行う。
②施工開始時期はこれまでの調査研究した上で判断する。

③郡家駅前活性化検討委員会を設置し、持続可能な八頭町らしい駅前のある方について検討している。

④東郡家団地の開発を考えれば、まず構想的な青写真を描くべく施設の内容や面積等、様々な角度から調査が必要と考える。

東郡家地区の宅地造成については、立地条件としては好条件であ

ると承知している。民間事業者が造成されるのであれば、引き続き造成の支援を行い、宅地供給の促進を図りたい。

⑤庁舎をどのような形で整備するのかを考えるのが先決だと思う。防災拠点になる部屋が必要と考えるが、公民館や図書館など公共的な施設はそれぞれの今後のあり方を考えていく中で検討してはと考える。

⑥医療機関の重要性も承知している。町民が安心して生活する上で身近で適切な医療が受けられるという事は大切なことだが総合病院の建設は非常にハードルが高い。



▲私都川改良工事現場



▲東郡家地区宅地造成

除雪対策

初動を早めては

町長／臨機応変に対応して
いく必要がある



森 亜紀子 議員

質問

地域防災計画の除雪出動基準や除雪完了目標の確認や検証は。

答弁

吉田町長
出動基準は積雪が10cmに達したところから出動。完了目標は受託業者の説明会等で個別に指示し早期の除雪完了に努めている。

質問

出動のタイミングは業者が積雪を確認し行うのか、建設課からの指示か。

答弁

吉田町長
業者にお願いしている。

質問

警報が出た際には10cmを待たず、初動を早く5cmからスタートしては。



▲GPSで効率のよい除雪を

答弁

吉田町長
臨機応変に対応していく必要がある。初動は大切だ。

質問

除雪車にGPSが付いていれば応援体制や補充、効率的な作業に繋がるのでは。

答弁

吉田町長
GPSは全て設置しており、路線ごとに業者をお願いしている。GPSによって想定時間は判断がつき、問合せがあったときに対応している。

町の活性化

買物支援は

町長／現状維持できるだけよう
最大限の努力を行う

質問

買物・医療・行政サービスの充実には住民の生活に不可欠。2点を問う。

- ①本庁舎の整備における行政サービスの質の向上と住民へ説明は。
- ②買物支援や地域医療の方針・計画は。

答弁

吉田町長
①県土整備事業、農林振興対策事業、有害鳥獣対策など県との類似業務の連携や、災害時の対応で迅速な連携が図れる。
行政懇談会を活用して説明する予定。パブリックコメントを行う機能や規模について広く意見を求める。
②県に買物環境の維持に関する要望書を提出し、県主催で対策協議会が開催された。地元で買物できるスーパーがある状態を維持できるように最大限の努力を行う。
医療機関と行政とが健康づくり

質問

健康管理のあり方など協議を行う「保健福祉行政・医療機関連絡調整会議」を毎年開催し、検討している。今後も現状を維持できるように東部圏域の関係機関と連携し、医療の提供の確保に努める。

質問

地域医療の充実には保健や健康づくりの事業も大切。保健師・看護師などの配置は十分か。

答弁

吉田町長
専門職の配置はできているが、足り苦しい面があり、募集している。なかなか応募はないのが現状だ。

※その他の質問

郡家駅の利便性について

5年度予算

総合計画をどのように生かしているか

町長／事務の効率化、DXの推進だ



柴田 秀之 議員

質問

予算の一番の関心は、お金が何に使われるか、町がどんな仕事をして何にいくらかかっているかを知ること。予算は町の活動、一年間の政策をお金で表現したもの。

- ① 総合計画を予算にどのように生かしているのか。
- ② 経常収支比率、財政力指数は。
- ③ 将来負担の健全度を示す人口1人当たりの地方債残高は。
- ④ 人件費の前年対比、人口千人当たりの職員数は。
- ⑤ DX推進による住民サービスの質の向上のための先進企業との連携は。

答弁

吉田町長

- ① 道路・交通環境の充実、移住定住支援、事務の効率化、DXの推進等。
- ② 経常収支比率は91.5%、財政力指数は0.231と見込んでいます。

③ 108万2千円となる。

④ 人件費は、前年より950万円増、人口千人当たりの職員数は13.37人。

⑤ 事業実施にかかる関係予算は現在精査中だ。

質問

住民一人当たりの地方債の残高を減らす工夫は。

答弁

吉田町長

公債費以下の起債の予算確保に務めていく必要がある。

質問

行政のコストを下げる一つの手法として、DXの推進がある、この取り組みは。

答弁

吉田町長

住民系のシステムの移行業務を含めて大体2,400万円計上した。

災害対策

防災拠点災害対策は

町長／本部は本庁舎に設置し

各拠点と連携し対応する

質問

大地震時の安全確保に加え、地震後も機能継続ができる防災拠点について伺う。

① 本町は防災拠点としてどのような規模の拠点づくりを目指すのか。

② 防災拠点建築物は、機能継続に資するものが求められているが。

③ 神戸市は阪神大地震時、マンホールトイレを整備した。本町の災害時のトイレ対策は。

答弁

吉田町長

① 災害対策本部は本庁舎に設置し各拠点と迅速に連携を図り対応する。

② 防災拠点となる建築物はすべて耐震基準を満たしている。

③ 1台当たり80回できる簡易トイレを100台備蓄している。

質問

東日本大震災の避難所で、断水で水の流れないトイレに困った。これからの施設の、マンホールトイレ設置は。

答弁

吉田町長

施設整備において、災害時等も考慮した施設整備を考えていく必要があると思う。

※その他の質問

トスク全店閉鎖買物の場存続に向けた支援について



▲ 福祉避難所の郡家保健センター付近

はたち二十歳になって振り返るふるさと



同志社女子大学 表象文化学部3年次生
鈴木 奏楽 さん

私は京都でエンジョイしている大学生の鈴木奏楽です。そんな私の青春は、ここ八頭町で過ごした18年間の中に詰め込まれています。

私が八頭町に帰ったときには、地域の方々が「おかえり」と話しかけてくださるのですが、それは学校から帰った時に言われていた「おかえり」と変わらない安心感があり、なんだかほっこりしました。

今、教員になるために勉強しており、2年後には教員として八頭町に戻りたいと思っています。コロナも落ち着いてきましたし、学生が以前よりも充実した青春が送れるよう、地域の皆様には変わらず温かく見守ってくださいますようお願いいたします。



令和5年 八頭町はたちのつどい

※議会だよりへのコメントの掲載を希望される方を募集しています。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

議会の傍聴を試みませんか

定例会・臨時会はケーブルテレビで生中継しています

一般質問は再放送もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641(議会事務局)

議会、議会だよりに関する意見、ご要望をお寄せください。

編集後記

2年に一度、委員会構成の変更があるため、今回の議会だよりの編集がこの委員会メンバーでは、最後の編集となります。2年前に「議会広報を通じて、町民と議会をつなぐ橋渡しを」とスタートいたしました。様々な世代の方々に、より議会だよりを読んで頂きたく、「議会の活動をいかに分かり易く伝えるか」を主眼に取り組み、議会だよりの配布箇所、配布施設を増やしたり、モニター会議を実施してきました。委員会の皆様にはお支えいただき、また、広報モニターの皆様にも大変お世話になりました。社会の変化は急激です。一つのことにとわかれず、状況に合わせた、より伝わり易い議会だよりの編纂を次の体制に期待したいと思えます。(記：矢部啓祐)

編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 矢部 啓祐 |
| 副委員長 | 川西 聡 |
| 委員 | 山根 張太郎 |
| 委員 | 灘口 茂郎 |
| 委員 | 川西 美恵子 |
| 委員 | 緒方 陽紀 |
| 委員 | 奥田 のぶよ |

※議会だよりの発行は2月、5月、8月、11月の年4回です。